



彩の技術士

公益社団法人 日本技術士会 埼玉県支部
The Institution of Professional Engineers, Japan 埼玉県支部

こうほう・Vol.14.2019.10.1.

〒333-0844 川口市上青木3-12-18 SKIPシティ A1-706B
埼玉県支部事務局 Tel.:048-263-0840, Fax.:048-263-0841
<http://www.engineer.or.jp/shibu/saitama/index.html>

目次

巻頭言	日本技術士会副会長	岩熊まき
支部長挨拶	日本技術士会埼玉県支部長	増古恒夫
委員会活動紹介		
総務企画委員会	委員長	村山 肇
CPD委員会	委員長	白岩信裕
科学技術振興委員会	委員長	黒澤兵夫
地域産業支援委員会	委員長	近藤 孝
地域活性化委員会	委員長	穴戸富雄
技術士新合格者紹介	小林健了 近藤勝夫	對馬一昭
2019年度年次大会報告	総務企画委員会委員	伏見隆夫
技術士試験合格者祝賀会報告	CPD委員会委員	浅見 薫

巻頭言

日本技術士会副会長 技術士（応用理学部門）岩熊まき

日本技術士会の魅力を引き出そう

現在の技術士登録は約92千人、内本会会員は約15.7千人、単純計算では入会率17%です。入会率を上げる試みは以前から取り組んでいます。残念ながら明らかな効果が見えていません。一方で、2017-2018年の2年間で、入会は1827人、退会は1381人です。一定規模の入会がある中で、退会者も多いのが会員数の伸び悩みの原因です。

入会勧誘も重要ですが、視点を変え、会員として引き留めるだけの十分に魅力的な活動を行っているかどうか、活動のしにくさはないだろうか等を考えることも重要です。“入会メリットがない”と言われますが、メリット＝価値観は、人により異なり多様です。現状は専門、技術部門に偏りがちで定式化し「一律の目線」で見えていないでしょうか。活動内容にも多様性が求められています。入会した方々の特に若手現役世代へのメッセージが足りていないのではないかと思います。

前期企画委員会では、地域や部会の若手現役世代による若手現役世代向けのCPD行事企画への費用支援や、新合格直後の入会は初年度年会費を免除したことで入会者は増えつつあります。

さらに、会費を何年か毎に見直すことや、多忙な現役世代が負担なく会員活動を継続できるような仕組みも考えられないでしょうか。

日々の活動では、会員になってくれた技術士によかれと思ってやったことが、実はありがた迷惑だったり、若手の意見を聞きたいはずが、招集側の同意を求める会議になっていたりしていないでしょうか。また、年齢、地域性、性別等での少数派は疎外感を持つこともあります。これらを意識することが大切です。個人的には、日本技術士会に魅力がないわけではなく、引き出せていない、宣伝が下手、と思っています。

技術士試験の受験者、登録者は今後漸減すると思われ。合格の喜びがそのまま会員になることにつながり、数の上でも技術士を代表する日本技術士会となるよう、魅力を引き出すことが望まれています。支部幹事や委員会委員の方々にはご苦勞をお掛けしますが、よろしくお願いいたします。



（岩熊まき副会長）

支部長挨拶

日本技術士会 埼玉県支部長 増古恒夫

前期に引き続き、支部長を拝命いたしました増古です。今年の幹事選挙で信任された23名の幹事の皆さんとともにより発展し魅力ある支部にしていきたいと思っておりますので引き続き宜しくお願いいたします。また今回退任された6名の幹事の皆様大変ご苦労様でした。

さて日本技術士会埼玉県支部は発足8年を迎えました。正会員761名、準会員179名(2019年3月末)で正会員は昨年より25名増えましたが、準会員は減少ぎみの状況です。

支部では毎年県内各大学理工系学生に「技術士」制度や、「技術士試験制度」説明会を実施しています。皆様の身近の優秀な技術者に「技術士」を目指し、合格後には日本技術士会会員になるよう勧めさせていただきたく願っています。

昨年度の支部活動は各委員会の活発な活動により前期以上の成果を達成することが出来ましたが幾つかの課題も残りました。各課題を改善するために基本方針を見直しました。

埼玉県支部役員、特別職役員(総務・役職順)

氏名	委員長	所属委員会	技術部門
渡辺 孫也	名誉支部長	地域産業支援委員会	金属
増古 恒夫	支部長		情報工学、総合技術監理
穴戸 富雄	副支部長・地域活性化委員長	地域活性化委員会	機械
黒澤 兵夫	副支部長・科学技術振興委員長	科学技術振興委員会	情報工学、総合技術監理
浜端 英男	会計幹事	地域産業支援委員会、地域活性化委員会	上下水道
伏見 隆夫	会計幹事	総務企画委員会、CPD委員会	経営工学、総合技術監理
村山 肇	総務企画委員長	総務企画委員会、CPD委員会	金属
横山 正巳	総務企画副委員長	総務企画委員会、CPD委員会	上下水道
白岩 信裕	CPD委員長	総務企画委員会、CPD委員会	化学、総合技術監理
菅原 宏	CPD副委員長	総務企画委員会、CPD委員会	応用理学、総合技術監理
若林 直樹	科学技術振興委員会副委員長	科学技術振興委員会	建設
小柳 直昭	地域活性化委員会副委員長、北部地区小委員会委員長	地域活性化委員会、CPD委員会、地域産業支援委員会	建設
平松 達生	東部地区小委員会委員長	地域産業支援委員会、地域活性化委員会	上下水道、総合技術監理
森永 清	西部地区小委員会委員長	地域産業支援委員会、地域活性化委員会	建設
近藤 孝	地域産業支援委員長	地域産業支援委員会	金属
若井 一顕	地域産業支援委員会副委員長	地域産業支援委員会	電気電子
中田 よしみ	支部幹事	総務企画委員会、科学技術振興委員会	原子力・放射線
佐藤 佳則	支部幹事	科学技術振興委員会	電気電子
埜本 信一	支部幹事	地域産業支援委員会、地域活性化委員会	金属
藤田 賢二	支部幹事	地域産業支援委員会、地域活性化委員会	金属
松本 良一	支部幹事	地域産業支援委員会、地域活性化委員会	建設
高橋 正人	支部幹事	地域産業支援委員会、地域活性化委員会	機械
山田 敏広	支部幹事	地域産業支援委員会、地域活性化委員会	建設

支部特別職及び副委員長委嘱

渡辺 孫也	名誉支部長	地域産業支援委員会	金属
松井 繁	支部参事	地域産業支援委員会、地域活性化委員会	建設・上下水道・総監
石井 繁	科学技術振興委員会副委員長	科学技術振興委員会	化学
加藤 秀昭	地域産業支援委員会副委員長	地域産業支援委員会	機械

今年度の基本方針として「会員がより各種活動に参加しやすく、会員にとってメリットある支部活動をすることといたしました。



(増古恒夫支部長)

また、活動方針の中で行動方針として以下推進していきます。

- ・企業内技術士・若手会員の活性化を推進する
 - ・技術士の知名度向上を努力する
 - ・技術者倫理の啓発や、継続研鑽(CPD)より、技術士の資質向上を強力に推進する
 - ・行政、公的機関、大学等教育機関、産業界との交流を更に深め、地域社会経済発展に資する活動を積極的に推進する。
 - ・若年層の技術に関する啓蒙活動を強化する
- これらの取組・活動を推進に積極的に参画いただきたく、なにとぞ宜しくお願いいたします。

以下、埼玉県支部役員、特別職等を紹介いたします。

総務企画委員会

埼玉県支部総務企画委員長 村山 肇

2019年度の役員改選により、総務企画委員長を再拝命された村山肇です。埼玉県支部発足と同時に、県支部幹事として7年に渡り支部活動に携わってきました。この経験を活かし皆様のお役に立てるよう活動するつもりです、よろしくお願ひします。

さて、2019年度の年次大会は7月27日に無事終了しました。参加者は65名となり盛況であったと思います。昨年は参加者が45名と少なかったことを反省、この要因を分析して下記の対応を行った結果と思います。

1. 行事実施日程：7月27日を3月末に決定でき、準備開始と会員・関係者への通知が早めに来たこと。
2. 特別講演：講演数を複数化したこと。
来年度年次大会に向けて、講演内容等の皆様からのご意見・ご希望をお待ちしております。

2019年度における総務企画委員会活動の課題と目標についてふれてみたいと思います。

- 1) 協賛団体を増やすこと、が長年の課題でありましたが、昨年度は実績が出ませんでした。今年度は2件を目標に活動する予定です。
- 2) SKIP事務所の課題は、交通が不便・手狭であることです。場所の選定を含め検討していきたいと考えます。
- 3) 県支部案内「リーフレット」の更新を行います。
- 4) 技術士知名度の向上については、少しずつ成果が上がってきていると思います。今我々に求められているのは「挑戦」と「変化」です。埼玉県の地域社会への発展と貢献を目指して、積極・果敢に技術士活動を進めていきましょう。
これらにつきまして、皆様からご提案・ご意見をいただきたく、依頼致します。

CPD委員会

埼玉県支部CPD委員長 白岩 信裕

本委員会では、14名の委員が1) CPD行事の企画・実施、2) 技術士倫理の研修、3) 教育機関、若手技術者への技術士制度普及を目指し、参加者の満足度向上、技術士資質の向上を目指し、活動しています。今年度前半(4月～9月)は、各委員会との共催を含め、講演会を5回、見学会を2回

大学生への技術士制度説明会を3回、コミュニケーション技法習得セミナーを1回実施しました。年度後半も同様な形式で講演会、見学会、技術士制度や開業支援の説明会を実施します。詳細は日本技術士会HPや会員メールでお知らせいたしますので奮ってご参加ください。

開催月日	場所	行事(テーマ)
10.3	国立極地研究所	講演・見学会「急変する北極圏の気候-地球温暖化に最も脆弱なグリーンランド-
10.18	武蔵浦和CC(コミュニティセンター)	講演「産学官連携・埼玉の農業研究開発-技術支援」
10.23	中川水循環センター	見学会「下水処理場」
11	県内公共工事現場	見学会「河川改修工事」
12	県北部地域公共施設	講演会「近日公開」
12	浦和CC	講演会{近日公開}
1.11	新都心BP(ビジネス交流プラザ)	技術士業績・研究発表大会、新年会
1.25	浦和CC	「新規開業セミナー」
2	県東部地域公共施設	講演「近日公開」
2.21	新都心BP	彩の国産業活性化交流会関連講演
3.7	ウェスタ川越	講演「建設業のIoT(現状と今後)」
3.21	浦和CC	セミナー「技術士資格取得制度説明会」

科学技術振興委員会

埼玉県支部科学技術振興委員会委員長 黒澤 兵夫

本委員会の目的は、地域の科学技術の振興と社会貢献であり、特に、小学生から大学生及び若手技術者の育成です。委員は、独自の理科実験テーマを持ち、顧客からの要求に対応しています。最近開催されました2件の理科教室について報告をします。

① <川口市立科学館・特別実験講座「カタクチイワシの解剖」>2019年6月23日AM・PM、参加者38名。煮干といえども、大切な生命であることや、イワシの種類、大きさ、形態、用途、名前の由来生産地などの説明を行った後、実験解剖を実施しました。実験は、生きているものの命を奪うことなく、魚の臓器の位置、大きさ・形状、骨格などを知ることができ、参加者及び科学館とも大変好評でした。

② <見沼学童クラブ・理科教室「モータを作ろう！」>2019年8月7日PM、参加者31名。電気の歴史、モータとは何か、原理、種類及び用途について分かり易く説明を行い、グループに分け実験に入りました。モータが回るごとに歓声をあげ喜んでいました。



川口科学館理科教室

地域産業支援委員会報告

埼玉県支部地域産業支援委員長 近藤 孝

地域産業支援委員会の重要なミッションは、「技術の力で地域の発展に貢献する」ことにあります。

2019年度は『技術士の更なる業務開発に向け、組織的に対外連携を進める』をスローガンに、活動を続けて参ります。

[1]社会貢献活動：

防災ビジネスグループを新たに作り体制強化し、特に防災教育に力を入れます。また、理化学研究所様との連携の取組を強化して参ります。

[2]地域産業支援活動：

さいしんコラボ産学官様と共同の技術課題相談会を本年度は2回開催予定で、9月10日に川越で第1回を行いました。

2017年度にスタートした、商工会議所・商工会連携活動の充実度が増し、技術士への業務依頼が増加しています。

[3]外部への技術士紹介活動

2019年度は埼玉北部地域技術交流会、BIZ SAITAMA、彩の国ビジネスアリーなどに出展し、技術士活動の紹介を実施します。

今年度は、技術士の活動をPRするための「技術士のシーズ提案」の場を、増やしてゆく検討をいたします。昨年度は、「第5回彩の国産業活性化交流会」で技術士のシーズを5件発表し大変好評でした。

引き続き「技術士はこんな支援ができます」をスローガンにして、技術士のシーズ提案を続けて参りますので是非技術士をご活用下さい。

技術問題にお困りの企業様のご要望にお応えできるよう一層の体制整備を進めますので、是非、技術士をご活用ください。

地域活性化委員会

埼玉県支部地域活性化委員長 穴戸 富雄

地域活性化委員会の北部・西部・東部の各小委員会は、令和元年度の諸活動を開始しました。先般、各委員会の定員増が認められ、当委員会としても委員の増員を図り活動を拡大したいと思います。

先ず、CPD 行事は、本年度、見学会3回、展示会出展2回を行います。また、講演会も3回の開催に向けて計画中です。技術士会々員へ広く声をかけ、参加者を増やしていきたいと思ひます。

次に、昨年度スタートした商工会訪問活動は、

本年度も重要テーマとして、地域産業支援委員会と連携し、活動を推進していきたいと思ひます。

[本年度活動の重要課題]

1)地域 CPD 行事参加者の増員

・技術士会会員への参加呼びかけ

2)地域商工会訪問活動の推進

・重点訪問先との関係強化

引き続き、各地域において地元に着した地道な活動を行い、地域貢献を果たしていきたいと思ひます。

2019年度 地域活性化委員会 CPD 行事等の計画（開催済みを含む）

主な行事	開催日時	行事内容（担当小委員会）	開催場所	関係者（機関）
見学会	2019/08/21	秩父地域ダム見学会（北部）	秩父市	滝沢ダム管理事務所
	2019/09/12	Kawasaki Robostage 見学会（西部）	東京都（台場）	カワサキロボットサービス㈱
	2019/10/23	中川下水道処理施設見学会（東部）	三郷市	中川下水道管理事務所（埼玉県）
講演会	2019/12/	講演会（北部）：未定	熊谷市	技術士
	2020/02/	講演会（東部）：未定	越谷市	
	2020/03/07	講演会（西部）：未定	川越市	
展示会(出展)	11/30,12/01	こしがや産業フェスタ 2019（東部）	越谷市	越谷商工会議所主催
	2020/02/	埼玉北部地域技術交流会（北部）	熊谷市（予定）	SAITEC 北部研究所主催

技術士新合格者紹介

日本技術士会埼玉県支部 小林 健了（電気電子、総合技術監理部門）

私は、電気機器メーカーで電話等の通信機器の設計・開発に携わっています。技術士資格については、平成24年度に1次試験、平成26年度に電気電子部門、平成30年度に総合技術監理部門に合格しました。技術士に登録した平成27年から、日本技術士会埼玉県支部に所属し、日々の研鑽を積んでいます。

電気電子部門に合格して以来、総合技術監理部門への合格は一つの大きな目標でした。そこには、社会にとって、自身にとって、意義深いものと感じられたからです。社会に対しては、自らが監理技術を早期に身に着けることで、長きにわたり、電話という社会的に重要な通信の安定化に寄与することで、社会貢献が可能と考えました。自身にとっては、30代半ばで電気電子部門に合格した以上、総合技術監理部門を早期に合格することで、「若いために年齢面で不利でも、早い段階から技術を身に着けようとしている」ということを示したい、という思いがありました。

総合技術監理部門の受験に当たっては、受験申し込みの際に必要な業務内容の確保に最も苦労

しました。私は社内では若手であり、日常の仕事をただ漫然と対応しているだけでは、管理に関する業務に携わることができませんでした。

ですが、電気電子部門の合格から3年を経過して、後輩への業務指導を通じて総合技術監理の事項を実践する機会を得ることができました。このときの体験を基に、平成29年に初めて総合技術監理部門を受験できました。結果として、2回の受験を経て、総合技術監理部門に合格できました。

最近の開発プロジェクトの管理も担当することが増え、総合技術監理部門の取得の際に学んだ「経済性管理、人的資源管理、情報管理、安全管理、社会環境管理」を実践しながら、社会のための技術開発を実践しています。今後も、自ら技術部門の技術士、総合技術監理の技術士として自身の業務に当たるだけでなく、後進の育成、さらには技術士の資格に興味を持ち受験を志す者が増えるよう、技術士の受験の促進にも努めていく所存です。



（小林 健了）

🌀 技術士新合格者紹介

国際航業株式会社 インフラマネジメント部都市デザイングループ 近藤 勝夫（建設部門）

本年度より、日本技術士会埼玉県支部に参加させていただくことになりました、国際航業（株）の近藤勝夫と申します。宜しく願い致します。

私は、建設コンサルタント業に携わっており、中でも都市及び地方計画、主に市街地整備分野に関する業務に約21年間、携わってまいりました。様々な地域の調査、計画、設計業務のこれまでの関わりを振り返ると、様々な苦勞や喜び、達成感が思い出されます。まちづくりに対する住民や行政の想い、さらに事業予算や法規制、地形条件といった制約、そうした要望を反映し、または課題をクリアし、形にしたときの達成感はひとしおです。

技術士受験は、4度目の挑戦にして合格となりました。ようやくこの合格という高い壁を乗り越えることができたという想いがあります。建設コンサルタント業界においては、自治体等の発注する業務への参加申請資格に技術士の資格保有者を要する条件の業務もあります。ですので、早期合格というこ

とを、使命感を持ちながら取り組んでおりました。

技術士の制度改革が進む中、今後、建設コンサルタント業界はもとより、他業界においても技術士、また技術士資格の重要性が増すことと思われます。私の携わるまちづくりの計画も様々な技術の融合による計画が進んでいます。事業所やサプライヤー等の拠点情報を地図上に展開、また、災害・気象等の震度分布や降雨等の情報と、交通情報、航空写真等を防災情報として地図に重ね、事業への影響を可視化し、災害時の初動を支援する計画等を策定しております。

こうした技術の創出は、様々な専門分野の技術者の協力があってこそ、成し得ることだと思いません。企業、専門分野という枠を超えた技術のシナジー効果で新たな技術が生み出され、社会貢献につなげることができればと考えます。



（近藤 勝夫）

🌀 技術士新合格者紹介

いすゞ自動車株式会社 車両設計第二部 對馬 一昭（機械部門）

私は、平成30年度技術士第二次試験（機械部門）に合格しました。

現在私は、多様なトラック・バスの「走る・曲がる・止まる」に関わる先行開発業務に携わっています。いま自動車業界は100年に一度の変革期と言われ、「CASE」というキーワードに表される新技術への対応が要求されています。これまで電子化が進んできたとはいえ機械が主体であった自動車づくりに対し、さらにモータ・電池、情報・サービス、環境、そして交通・物流などの幅広い技術や知識が求められているのです。

このような状況であるからこそ、技術士の深い専門的技術や俯瞰的なものの考え方、倫理観などが最も必要であると思います。そんな折、尊敬するかつての上司が技術士の資格を持っていることを思い出し、資格習得への挑戦を決意したのです。人生

100年と言われる昨今、将来の生き方を模索しているなかで、ちょうど定年まであと10年というタイミングもそれを後押ししてくれました。

また、試験に向けて準備をしている際に再三その様々な責任の重さと高い倫理観に触れ、プロフェッショナルなエンジニアたるべく背筋がピンと伸びる思いでした。

今後は、まず企業内技術士として業務遂行し、後進の育成に努めます。そしてその間、総合技術監理部門への挑戦や、語学習得、無論自動車関連技術などの研鑽を積み技術力を更に磨き、これを以って社会貢献できるよう、居住地である埼玉県及び、もっと広いフィールドに飛び出していきたいと思っています。



（對馬 一昭）

2019 年度年次大会報告

総務企画委員会・CPD 委員会委員 伏見 隆夫

はじめに

2019年7月27日(土)に埼玉県支部2019年度年次大会がさいたま新都心ビジネス交流プラザ(埼京線北与野駅前)で開催されました。参加者は65名でした。第1部では、支部活動方針について報告がありました。第2部では、講演1で「技術士制度改革について」日本技術士会統括本部 徳川和彦氏に、講演2で「技術士とイノベーション」東京工業大学准教授 辻本将晴氏にご講演を戴きました。

第1部 年次大会 (13:30~15:00)

増古支部長から埼玉県支部の前年度活動結果報告と今年度の活動方針の話がありました。各委員会の活動報告と年度計画については、総務企画委員会は村山肇委員長、CPD委員会は白岩信裕委員長、科学技術振興委員会は黒澤兵夫委員長、地域産業支援委員会は近藤孝委員長、地域活性化委員会は穴戸富雄委員長からそれぞれ報告がありました。支部会計の前年度実績と今年度予算は、菅原宏会計担当から報告があり承認されました。

第2部 CPD特別講演会 (15:15~17:00)

講演1. 「技術士制度改革について」

- ・日本技術士会技術士制度検討委員会は、2015年発足、本年5月に制度改革の最終報告を行っている。
- ・技術士制度の問題は、技術士の資質向上の責務が技術士法第47条の2に記載されるが、罰則規定がないことや、登録事項の変更(第35条)にも罰則規定がなく実会員数がわからないこと等である。
- ・更新制度の提案(最終報告)内容は、①更新対象者は技術士全員、②更新は5年に1回、③更新にはCPDを年20時間必須、④半日研修の更新講習必須、⑤講習会場は統括本部と各地域本部、⑥未受講者は技術士(更新)の名称が使えない、⑦更新済の技術士をWEBで公開、⑧研修実施機関は日本技術士会、⑨CPD登録機関は日本技術士会及び希望法人とする等、である。但しこれらは国への答申後、変わる可能性がある。



(講演者：徳川和彦氏)

講演2. 「技術士とイノベーション」

1) イノベーションとは何か

イノベーションとは、何か新しいものを考えて活用することである。シュンペーターはイノベーションの5つの類型を提示した。その後概念は発展し、一つにエコシステムイノベーションがある。

2) 社会・技術システムの移行

技術的ニッチが社会・技術システムの移行を引き起こす例は多く存在する。帆船が蒸気船に移行するとき、帆船効果が働き、帆船の改善があったものの、やがて蒸気船に振り替えられてしまった。

ある学生がおもちゃ老舗のLEGO社のプログラムにハッキングを行い、LEGO社が考えもしなかったマシンを作り出した。それを知ったLEGO社は訴訟を起こすのではなく、むしろハッカーを支援し、ビジネスを変えている。

3) 中小企業とそれを支援する技術士の対応方法

エコシステムの全体像を描き、自社はどの立ち位置にいるのか、そこで優位な位置を占めることができるか検討することが必要である。エコシステムを設計し実装することが生き残りのカギになる。



(講演者：辻本将晴氏)

おわりに

年次大会終了後に、参加者による懇親会を実施しました。栃木県支部長 黒須重富氏、千葉県副支部長 山本陽一氏が参加され、地域事情などについての意見交換ができました。



(年次大会参加者)

平成30年度技術士一次／二次試験合格者祝賀会報告

CPD 委員会委員 浅見 薫

平成30年度埼玉県支部技術士一次／二次試験合格者祝賀会が5月25日（土）、さいたま新都心ビジネス交流プラザにて合格者17名を含む44名（昨年度は合格者15名計46名）の参加のもと盛大に開催されました。祝賀会は、支部活動の紹介と記念特別講演の構成で行われ、司会の伏見CPD委員の開会宣言の後、先ず、増古支部長の挨拶がありました。その中では合格者に祝意を表すとともに、行事への出席のみならず、日本技術士会に入会し、委員会の委員として支部活動への積極的な参加に対する期待が述べられました。

支部活動は、総務企画、CPD、科学技術振興、地域産業支援及び地域活性化の各委員会別に委員長より委員会の所掌や構成などが紹介されるとともに、前年度の活動と今年度の計画につき報告と説明が行われました。

記念特別 CPD 講演は、「技術者倫理を考える」と題し、パナソニック株式会社 中山佳則氏（技術士金属部門）に講演して頂きました。



（講演者：中山佳則氏）

先ず、倫理問題について事例に学ぶとして、新幹線と地震対策の事例を取りあげて解説されました。

1995年1月の阪神・淡路大震災における山陽新幹線の橋脚落下災害を反省し、耐震基準を強化し、新幹線の高架橋の柱3,000本の耐震補強が施されました。その後、2003年5月の宮城県沖地震で、その補修から漏れた橋脚30本にひび割れが見つかったため、東北新幹線と上越新幹線の橋脚、合計15,000本の補修が行われまし

た。この地道な努力の結果、2004年10月の新潟県中越地震においては、上越新幹線は列車の脱線はあったものの、転覆することなく、正面衝突も回避できています。また、2011年3月の東日本大震災では、いずれの列車も安全に停止したという実態が認められます。

新幹線は、一度も運転死亡事故を起こしていないことから、「安全神話」さえあるが、これは、鉄道事業者や技術者の絶え間のない努力によって実現され、維持されていると強調され、技術者倫理とは、倫理学、倫理的な考え方を基礎とし、現代社会の様々な技術的課題について、技術者が専門知識を駆使して真摯に解決しようと努力することであると、倫理的責任を全うしようとたゆまぬ努力を続けることで技術者が技術の仕事で「幸運」を得ることができるなどの考え方が述べられました。

祝賀会終了後、懇親・交流会が行われ、村山総務企画委員長の司会のもと、技術士試験合格者の自己紹介が行われ、地域貢献活動に意欲を持つ合格者の方々を囲み、自由な雰囲気の中、参加者相互の交流と親睦が深められました。

公益社団法人 日本技術士会 埼玉県支部
技術士試験合格者祝賀会



（合格者を囲んだ懇親・交流会）

埼玉県支部 協賛団体の紹介

1. ベルセッジ・インコーポレイテッド
2. NPO 法人彩の国技術士センター
3. 有限会社 中村金属工業
4. 共和コンサルタント株式会社
5. 株式会社テクノクオリティー
6. 一般社団法人 技術士さいたま

編集後記

彩の技術士こうほう・Vol.14号の発行にあたり、寄稿して下さった皆様、ご協力していただいた方々に感謝申し上げます。
今後も支部活動への参加をお待ちしております。

発行所 公益社団法人日本技術士会 埼玉県支部

こうほう・彩の技術士 第14号

発行年月日 2019年10月1日発行

日本技術士会埼玉県支部 E-mail saitama@engineer.or.jp